

- 回例会, 新潟, 2002. 11. 9
- 32) Tapety F. I., Amizuka N., Nomura S. and Maeda T. : A histological evaluation on the involvement of Bio-Oss in osteoblastic differentiation and matrix synthesis . 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002. 11. 9 , 新潟歯学会雑誌, 32(2) : 349, 2002
- 33) 田澤貴弘, 野村修一, 渡邊令子: 自立した高齢者における口腔状態と食生活に関する調査 . 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002. 11. 9 , 新潟歯学会雑誌, 32(2) : 351, 2002
- 34) Stegaroiu R, Sato T, Nomura S, Miyakawa O: Prosthesis material influence on strain around a dynamic loaded implant. the50th Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research, Sendai, 2002. 11. 30-12. 1
- 35) Tapety F. I., Amizuka N., Nomura S. and Maeda T. : Histological analysis of Bio-Oss in osteoblastic differentiation and matrix synthesis. the50th Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research, Sendai, 2002. 11. 30-12. 1
- muscle activity during mastication in freely behaving rabbits. Brain Research, 956 : 149-155, 2002.
- 6) Machida, N., Yamada, K., Takata, Y. and Yamada, Y. : Relationship between facial asymmetry and masseter reflex activity. J Oral and Maxillofacial Surgery, 61(3) : 298-303, 2003.
- 7) Suzuki, I., Yamada, K., Yamakawa, T., Hashiba, M. and Akazawa, K. : Delivery of medical multimedia contents through the TCP/IP network using RealSystem. Comput Methods Programs Biomed., 70(3) : 253-258, 2003.
- 8) 泉 健次, 小林正治, 本間克彦, 新垣 晋, 齊藤力, 寺田員人, 石井一裕, 森田修一, 野村章子: 顎裂部骨移植後の咬合形成に関する臨床的検討. 日本口蓋裂学会雑誌, 27(1) : 58-66, 2002.
- 9) 小林正治, 加納浩之, 本間克彦, 新垣 晋, 山田一尋, 齊藤 功, 林 孝文, 齊藤 力: 下顎後退症患者における外科的矯正治療前後の顎関節症状と術後の安定性について. 日本顎変形症学会雑誌, 12(1) : 9-14, 2002.
- 10) 布田花子, 森田修一, 山田秀樹, 花田晃治, 齊藤力, 高木律男: Le Fort I 型骨切り術に伴う鼻部の変化 - 上下顎移動術を施行した女性骨格性下顎前突症例について -. 日本顎変形症学会雑誌, 12(3) : 85-93, 2002.
- 11) 朝日藤寿一, 寺田員人, 小野和宏, 八木 稔, 小林正治, 飯田明彦, 野村章子, 佐藤孝弘, 吉羽永子, 田井秀明, 石井一裕, 田口 洋, 小林富貴子, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 高木律男, 花田晃治: 新潟大学歯学部附属病院口蓋裂診療班登録患者の動向によるチームアプローチの評価について. 日本口蓋裂学会雑誌, 27(3) : 297-305, 2002.
- 12) 小野和宏, 越知佳奈子, 森田修一, 飯田明彦, 早津誠, 藤田 一, 高木律男, 石井一裕, 朝日藤寿一, 花田晃治: 唇顎口蓋裂と唇顎裂を有した一卵性双生児の顎発育に関する縦断的観察. 日本口蓋裂学会雑誌, 27(3) : 339-350, 2002.
- 13) 周 静, 小林博昭, 神成直子, 田口 洋, 朝日藤寿一, 野田 忠: 上下4か所に生じた嚢胞様病変による第二大臼歯の萌出障害の1例. 日本小児歯科学会雑誌, 40(1) : 189-197, 2002.
- 14) 齊藤 功: ヘッドギアとIII級ゴムを用いて治療した成人開咬合2症例と開咬合治療の難易性因子. Monograph of Clinical Orthodontics, 24 : 39-58, 2002.
- 15) 道 建一, 荒木孝二, 毛利 環: モデル・コア・カリキュラムと共用試験. 日本歯科医学教育学会雑誌, 18(1) : 47-56, 2002.

咬合制御学分野

【論文】

- 1) Sultana, MH., Yamada, K. and Hanada, K. : Changes in occlusal force and occlusal contact area after active orthodontic treatment : a pilot study using pressure-sensitive sheets. J Oral Rehabilitation, 29 (5) : 484-491, 2002.
- 2) Lai, W., Yamada, K., Hanada, K., Ali, IM., Takagi, R., Kobayashi, T. and Hayashi, T. : Post-operative mandibular stability after orthognathic surgery in patients with mandibular protrusion and mandibular deviation. International Journal of Adult Orthodontics and Orthognathic Surgery, 17 (1) : 13-22, 2002.
- 3) Alkhamrah, B., Yamada, K., Yamaki, M., Ali, IM. and Hanada, K. : Relationship between bilateral condylar bone change and mandibular morphology : A study using morphology. International Journal of Adult Orthodontics and Orthognathic Surgery, 17 (3) : 207-216, 2002.
- 4) Arai, T., Ishii, K., Morita, S., Hanada, K., Ono, K. and Takagi, R. : Effects of Hotz' plate-based two-stage palatoplasty on craniofacial development. 日本口蓋裂学会雑誌, 27(3) : 306-324, 2002 .
- 5) Aeba, H., Yamamura, K., Inoue, M., Hanada, K., Ariyasinghe, Sajjiv. and Yamada, Y. : Effects of the inferior alveolar nerve stimulation on tongue

- 16) 早津 誠, 小野和宏, 飯田明彦, 永田昌毅, 今井信行, 高木律男, 大橋 靖, 花田晃治, 森田修一: Hotz床併用二段階口蓋形成手術法を施行した両側性唇顎口蓋裂児の顎発育に関する研究 - 5歳から12歳までの顎発育について -. 日本口腔科学会雑誌, 52(1): 6-16, 2003.

【著書】

- 1) 森田修一, 花田晃治: エッジワイズ・メカニクスを利用した第1期治療 - いわゆる上下顎2×4とClass IIIエラスティックスのメカニクス -. 156-158頁, 東京臨床出版, 東京・大阪, 2002.
- 2) 花田晃治: 日本人のルーツを求めて - 蒙古民族「モンゴロイド」の大移動と日本人の口の中 -. ブックレット新潟大学5『食べる』, 新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット(新潟大学編集委員会編), 40-45頁, 新潟日報事業社, 新潟, 2002.
- 3) 森田修一: 歯並びと「食べる」. ブックレット新潟大学5『食べる』, 新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット(新潟大学編集委員会編), 40-45頁, 新潟日報事業社, 新潟, 2002.
- 4) 廣島邦泰, 前田健康, 花田晃治, 脇坂 聡: 歯の移動における感覚異常発現機構 Parabrachial nucleusにおけるFosタンパクの出現. 臨床家のための矯正YEAR BOOK '02, 28-34頁, クインテッセンス出版, 東京, 2002.
- 5) 毛利 環, 花田晃治(分担訳・解説): EUにおける卒後矯正専門医教育プログラム. 「Erasmus」/ Van der Linden, F PGM. 臨床家のための矯正YEAR BOOK '02, 94-104頁, クインテッセンス出版, 東京, 2002.
- 6) 斉藤 功: 偏位咬合. YEAR BOOK 2002 今日の治療指針'02, 367-368頁, クインテッセンス出版, 東京, 2002.
- 7) 星 隆夫, 森田修一: 大白歯の遠心移動. YEAR BOOK 2002 今日の治療指針'02, 266-267頁, クインテッセンス出版, 東京, 2002.
- 8) 朝日藤寿一, 寺田員人: 第一・第二鰓弓症候群. YEAR BOOK 2002 今日の治療指針'02, 272-273頁, クインテッセンス出版, 東京, 2002.
- 9) 朝日藤寿一, 寺田員人: Crouzon症候群. YEAR BOOK 2002 今日の治療指針'02, 273-274頁, クインテッセンス出版, 東京, 2002.
- 10) 朝日藤寿一, 寺田員人: Treacher Collins症候群. YEAR BOOK 2002 今日の治療指針'02, 274-275頁, クインテッセンス出版, 東京, 2002.
- 11) 朝日藤寿一, 小野和宏: Pierre-Robin症候群. YEAR BOOK 2002 今日の治療指針'02, 276頁, クイ

ンテッセンス出版, 東京, 2002.

- 12) かづきれいこ: がん患者のリハビリメイク. がんの在宅医療, 94-101頁, 中外医学社, 2002.
- 13) かづきれいこ: リハビリメイク 生きるための技. 岩波書店, 2002.
- 14) 山田一尋, 花田晃治: 歯科矯正からみた顎関節症の文献的考察. 日本顎関節学会編「顎関節症」永末書店, p.256-260, 2003.

【研究成果報告書】

- 1) 斉藤 功, 朝日藤寿一: 歯牙移動時における各種神経ペプチドの骨吸収系細胞への関与の可能性を探る. 2000-2002年度科学研究費補助金研究報告, 基盤研究(C)(2), 研究課題番号 1267199.
- 2) 花田晃治, 斉藤 功: マウス由来株化セメント芽細胞の樹立とその性質の解明. 2001-2003年度科学研究費補助金研究報告, 萌芽的研究, 研究課題番号 13877351.
- 3) 花田晃治, 朝日藤寿一, 小野和宏, 森田修一, 高木律男, 寺尾恵美子, 幸地省子, 大塚純正, 須佐美隆史, 根来武史, 北井則行: 片側性唇顎口蓋裂患者に関する多施設比較研究. 2002-2005年度科学研究費補助金, 基盤研究(B)(2) 課題番号1470692.
- 4) 寺田員人, 小野和宏, 朝日藤寿一: Hotz床併用二段階口蓋形成法の中顔面成長に及ぼす影響に関する3次元的研究. 2002年度科学研究費補助金研究報告, 基盤研究(C)(2), 課題番号13672142.
- 5) 笠井美香子: セルフエステームと矯正治療との関係. 2002年度日本学術振興会奨励研究実績報告, 課題番号14922084.

【講演・シンポジウム】

- 1) 覚道健治, 溝口 到, 山田一尋, 高木律男, 林 孝文, 櫻井 孝, 田中達朗: シンポジウム「顎関節疾患の画像診断におけるminimum requirement」顎関節発育異常における画像診断の役割. 日本歯科放射線学会第7回臨床画像大会, 横浜, 2002年4月27日. 歯科放射線学会誌 42, 154-155頁, 2002.
- 2) 花田晃治, 他: 歯科医師国家試験における新たな実技試験の導入. 第21回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 横浜, 2002年7月13日.
- 3) 山田一尋: 歯科矯正治療と顎関節症. 平成14年度北海道医療大学同門会特別講演, 北海道, 2002年7月24日.
- 4) かづきれいこ: 顔と医療のかかわり リハビリメイクの立場から. 第7回日本顔学会大会シンポジウム, 新潟, 2002年9月29日. 日本顔学会雑誌 2(1), 162-163頁, 2002.

- 5) 花田晃治, 他: 顎関節症と矯正治療との関連. 第4回日本国際歯科大会, 横浜, 2002年10月20日.
- 6) 山田一尋: シンポジウム「矯正治療の顎関節症との関連」矯正治療と顎関節症. 第4回日本国際歯科大会, 横浜, 2002年10月20日. 抄録集, 128頁, 2002.
- 7) 花田晃治: モンゴロイドの歯科人類学的研究. 愛知県立新城高校創立90周年記念講演, 新城・愛知, 2002年11月10日.
- 8) かづきれいこ: リハビリメイク生きるための技. 第13回日本歯科審美学会学術大会特別講演, 東京, 2002年11月17日.
- 9) Hanada, K: First and/or second phase orthodontic treatment of the reversed occlusion. 4th Asian-Pacific Orthodontic Conference, Singapore, November 23, 2002.
- 10) Hanada, K: First and/or second phase orthodontic treatment of the reversed occlusion. University of Dental College, Dhaka, Bangladesh, November 25, 2002.
- 11) Hanada, K: Perio-orthodontic treatment in adult patients. Pioneer Dental College and Bangabondhu Sheik Mujib Medical Univeritym Dhaka, Bangladesh, November 27, 2002.
- 12) 星 隆夫: 「矯正治療を習得するまで忘れてはいけないこと」. ミツバオーソサプライ創立15周年記念シンポジウム, 東京, 2003年3月30日.
- of the periodontal Ruffini endings. Society for Neuroscience's 32nd Annual Meeting, Orlando, FL, USA, 2002, 11. 2-7.
- 5) Hoshino, N., Harada, F., Kawano, Y., Hanada, K., Yamamura, K. and Maeda, T.: Involvement of BDNF in the development of the periodontal Ruffini endings. Society for Neuroscience's 32nd Annual Meeting, Orlando, FL, USA, 2002, 11. 2-7.
- 6) 近藤由香里, 森田修一, 星 隆夫, 花田晃治: 新潟大学歯学部附属病院を受診した矯正患者における開咬合症例の治療に関する調査. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 18頁, 2002.
- 7) 中川麻里, 森田修一, 星 隆夫, 八巻正樹, 花田晃治: 下突咬合症例における矯正治療前後の軟組織側貌の評価 - PAI, PAI 2 を用いて -. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 19頁, 2002.
- 8) 山田秀樹: 叢生を伴う上顎前突症例. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 31頁, 2002.
- 9) 中村順一: 叢生を伴う上顎前突症. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 32頁, 2002.
- 10) 晝間康明: 動的治療終了後に歯根吸収を認めた上顎前突症. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 37頁, 2002.
- 11) 山岸敏夫: 叢生を伴う偏位咬合, 過蓋咬合症例. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 38頁, 2002.
- 12) 齊藤 功: 集合性歯牙腫による上顎犬歯および側切歯の歯根吸収を伴ったアングルIII級偏位咬合症例. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 39頁, 2002.
- 13) 長沼一雄: アングルIII級叢生症例. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 40頁, 2002.
- 14) 小栗由充: 偏位を伴う下顎前突症例. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 41頁, 2002.
- 15) 布田花子: 上顎前歯部歯槽骨切り術およびオトガイ形成術を併用した上顎前突症例. 第17回甲北信越矯正歯科学会大会, 甲府, 2002年6月16日, プログラム抄録, 42頁, 2002.
- 16) 小林正治, 野村 務, 高田佳之, 山田一尋, 林 孝文, 新垣 晋, 齊藤 力: 顎変形症患者の顎関節症状について. 第15回日本顎関節学会総会, 東京, 2002年6月27-28日.

【学会発表】

- 1) Terada, K., Alkhamrah, B. and Hanada, K.: Effects of orthodontic treatment on facial expressions with computer graphics. 78th European Orthodontic Society Congress, Sorrento (Italy) 2002, 6.4-8, European Journal of Orthodontics 24(5), p.595, 2002.
- 2) Ohashi, N., Tanaka, M., Lin, G., Ikegame, M., Tsusaki, H., Fukuzaki, K., Kohno, S., Hanada, K. and Ejiri, S.: The Effects of Estrogen Deficiency on Monkey Mandibular Condyles Following Ovariectomy. The 32nd annual International Sun Valley Hard Tissue Workshop, Idaho USA, 2002, 8.4-8, Journal of Musculoskeletal and Neuronal Interactions 2(6): 597-598, 2002.
- 3) Kazuki, R.: Rehabilitation make-up. 13th China-Japan Joint Meeting on Plastic Surgery, 南京(中国) 2002, 9.23.
- 4) Harada, F., Maeda, T., Hoshino, N., Iijima, K., Kawano, Y., Hanada, K., Atsumi, Y. and Wakisaka, S.: Depletion of BDNF Induces delay of regeneration

- 17) 山田一尋, 福井忠雄, 宮城尚史, 鶴田明美, 花田晃治, 河野正司, 林 孝文: 変形性関節症患者における咬頭嵌合位と後方咬合位の関連. 第15回日本顎関節学会総会, 東京, 2002年6月27-28日.
- 18) 林 孝文, 伊藤寿介, 小山純市, 小林富貴子, 小林正治, 野村 努, 小林龍彰, 井上龍夫, 櫻井直樹, 山田一尋: 軸位断MR像で顎関節円板転位方向を推定できるか? 第15回日本顎関節学会総会, 東京, 2002年6月27-28日.
- 19) 小山純市, 伊藤寿介, 林 孝文, 小林富貴子, 山田一尋, 齊藤 功, 鶴田明美, 小林正治: 下顎後退を伴う上顎前突症例における顎関節骨変化の検討: 両側下顎枝分割骨切り術前後での比較. 第15回日本顎関節学会総会, 東京, 2002年6月27-28日.
- 20) 宮 琳, 田中みか子, 池亀美華, 大橋直子, 関 あずさ, 江尻貞一, 齊藤 力: 卵巣摘出後のサル顎骨に及ぼすAlendronateの影響. 第22回骨形態計測学会, 東京, 平成14年6月27-29日. 抄録集, 60頁, 2002.
- 21) 田中みか子, 大橋直子, 宮 琳, 池亀美華, 林 孝文, 角崎英志, 福崎好一郎, 河野正司, 江尻貞一: 卵巣摘出サルにおける顎骨骨密度と体幹骨密度との関連性に関する検討. 第22回骨形態計測学会, 東京, 平成14年6月27-29日. 抄録集, 70頁, 2002.
- 22) Tsuruta, A., Yamada, K., Hanada, K., Koyama, J., Hayashi, T., Hosogai, A. and Kohno, S.: Relationship between morphological changes of the condylar displacement. 新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2002年7月13日. 新潟歯学会雑誌 32(2)129頁, 2002.
- 23) Hoshino, N., Alkhamrah, B., Harada, F., Kawano, Y., Hanada, K., and Maeda, T.: Absence of BDNF Retards the Development of Periodontal Ruffini Endings in the Mouse Incisor. 新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2002年7月13日. 新潟歯学会雑誌 32(2)130頁, 2002.
- 24) 竹内由一, 林 孝文, 伊藤寿介, 平 周三, 竹山雅規: 口内法撮影における患者口腔内に挿入するフィルムによる痛みの緩和に関する検討. 新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2002年7月13日. 新潟歯学会雑誌 32(2)130頁, 2002.
- 25) 宮 琳, 田中みか子, 池亀美華, 大橋直子, 関 あずさ, 齊藤 力, 江尻貞一: Alendronateは卵巣摘出後のサル顎骨粗鬆化を抑制するが, 顎骨動態にも影響を及ぼす. 第20回日本骨代謝学会, 東京, 2002年7月26日. プログラム抄録集, 126頁, 2002.
- 26) 松井理恵, 河野正司, 花田晃治, 宮城尚史, 五十嵐直子, 澤田宏二, 細貝暁子, 石田陽子: 食物の大きさが開口量と頭部運動量に与える影響 - 骨格性下顎前突症例の場合 -. 日本顎口腔機能学会・第28回学術大会, 仙台, 2002年7月27日. 抄録集, 7-8頁, 2002.
- 27) 新部洋史, 山田一尋, 福井忠雄, 小栗由充, 宮城尚史, 山崎幸一, 細貝暁子, 花田晃治, 河野正司: 骨格性下顎前突症患者におけるタッピング運動中の頭部の協調運動. 日本顎口腔機能学会・第28回学術大会, 仙台, 2002年7月27日. 抄録集, 16-17頁, 2002.
- 28) 林 孝文, 田中 礼, 山田一尋, 花田晃治: 骨格性下顎前突症例の関節円板転位を有さない顎関節における関節隆起の不整な骨吸収について. 第12回日本顎変形症学会総会, 大阪, 2002年7月29日. 抄録集, 88頁, 2002.
- 29) 小林正治, 本間克彦, 加納浩之, 齊藤 功, 新垣晋, 齊藤 力: 上顎前歯部歯槽骨切り術(Wassmund法)を施行した8例の検討. 第12回日本顎変形症学会総会, 大阪, 2002年7月30日. 抄録集, 104頁, 2002.
- 30) 布田花子, 森田修一, 山田秀樹, 齊藤 力, 高木律男, 花田晃治: Le Fort I型骨切り術に伴う鼻部の変化. 第12回日本顎変形症学会総会, 大阪, 2002年7月29-30日. 抄録集, 120頁, 2002.
- 31) 竹山雅規, 森田修一, 山田秀樹, 武藤祐一, 齊藤力, 高木律男, 花田晃治: オトガイ形成術による軟組織側貌の変化. 第12回日本顎変形症学会総会, 大阪, 2002年7月29-30日. 抄録集, 131頁, 2002.
- 32) 児玉康光, 高木律男, 星名英行, 小野和宏, 福田純一, 八巻正樹: 顎矯正手術後の成長により再び非対称を生じた下顎非対称症の1例. 第12回日本顎変形症学会総会, 大阪, 2002年7月29-30日. 抄録集, 91頁, 2002.
- 33) 山田秀樹, 布田花子, 森田修一, 花田晃治: 上顎前歯部歯槽骨切り術を適応した2例. 第7回日本顔学会, 新潟, 2002年9月28-29日. 日本顔学会雑誌 2(1): 184頁, 2002.
- 34) Hoshino, N., Alkhamrah, B., Harada, F., Kawano, Y., Hanada, K., and Maeda, T.: Involvement of the neurotrophin BDNF in the maturation of periodontal Ruffini endings. 第44回歯科基礎医学会, 東京, 2002年10月3-4日.
- 35) 江尻貞一, 宮 琳, 田中みか子, 大橋直子, 池亀美華: 顎骨粗鬆化に対するAlendronateとprostaglandin E receptor (EP4) agonistの影響. 第44回歯科基礎医学会, 東京, 2002年10月4日.
- 36) かづきれいこ: 元気の出るメイク. 第24回日本美容外科学会総会, 沖縄, 2001年10月6日.
- 37) 田中みか子, 大橋直子, 河野正司, 江尻貞一: 顎骨データを用いた骨粗鬆症診断の可能性に関する基礎的検討. 第108回日本補綴歯科学会, 名古屋, 2002年10月12日. 補綴誌特別号, 46頁, 2002.

- 38) Gramaticescu, C., 寺田眞人, 石井一裕, 大橋直子, 小野和宏, 森田修一, 花田晃治: A three-dimensional evaluation of mid-facial development in UCLP. 第61回日本矯正歯科学会, 名古屋, 2002年10月24日. 抄録集, 109頁, 2002.
- 39) 森田修一, 星 隆夫, 八巻正樹, 山田秀樹, 中村順一, 稲見佳大, 布田花子, 川原のぞみ, 松久淳子, 山崎幸一, 八幡 誠, 花田晃治: 新潟大学新入生に対するDental Aesthetic Indexの調査. 第61回日本矯正歯科学会, 名古屋, 2002年10月24日. 抄録集, 140頁, 2002.
- 40) 星 隆夫, 森田修一, 斉藤 功, 越知佳奈子, 晝間康明, 中川麻里, 若松孝典, 近藤由香里, 金谷登紀子, 花田晃治: 新潟大学新入生に対する咬合調査. 第61回日本矯正歯科学会, 名古屋, 2002年10月24日. 抄録集, 140頁, 2002.
- 41) Hoshino, N., Alkhamrah, B., Harada, F., Kawano, Y., Hanada, K. and Maeda, T.: The development of the periodontal Ruffini endings in the BDNF knock-out mouse. 第61回日本矯正歯科学会, 名古屋, 2002年10月24日. 抄録集, 154頁, 2002.
- 42) 原田史子, 星野ナタリア, 飯島健二, 河野芳朗, 花田晃治, 前田健康: BDNF欠損マウスにおける下歯槽神経切断後の歯根膜ルフィニ神経終末の再生遅延. 第61回日本矯正歯科学会, 名古屋, 2002年10月24日. 抄録集, 156頁, 2002.
- 43) Tsuruta, A., Yamada, K., Hanada, K., Hosogai, A., Kohno, S., Koyama, J. and Hayashi, T.: Thickening of the glenoid fossa and condylar bone change: A helical computed tomography study. 第61回日本矯正歯科学会, 名古屋, 2002年10月24日. 抄録集, 230頁, 2002.
- 44) 吉田孝洋, 森田修一, 中川麻里, 八巻正樹, 花田晃治: PAI 2を用いた上突咬合症例における矯正治療前後の軟組織側貌評価. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002年11月9日, 新潟歯学会雑誌 32(2)137頁, 2002.
- 45) 中川公貴, 寺田眞人, 稲見佳大, 山崎幸一, 森田修一, 花田晃治: 偏位を伴う顎変形症患者における顔面軟組織の三次元的変化. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002年11月9日, 新潟歯学会雑誌 32(2)137頁, 2002.
- 46) 新部洋史, 山田一尋, 福井忠雄, 小栗由充, 細貝暁子, 宮城尚史, 花田晃治, 河野正司: 骨格性下顎前突症患者におけるタッピング運動中の頭部の協調運動. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002年11月9日, 新潟歯学会雑誌 32(2)138頁, 2002.
- 47) 田中みか子, 大橋直子, 宮 琳, 池亀美華, 竹内由一, 林 孝文, 河野正司, 江尻貞一: 歯科における骨粗鬆症スクリーニングの基礎的検討. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002年11月9日, 新潟歯学会雑誌 32(2)138-139頁, 2002.
- 48) 原田史子, 星野ナタリア, 河野芳朗, 花田晃治, 前田健康: BDNF欠損マウスにおける歯根膜ルフィニ神経終末の再生過程. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002年11月9日, 新潟歯学会雑誌 32(2)144頁, 2002.
- 49) 飯島健二, 原田史子, 星野ナタリア, 花田晃治, 前田健康: 歯根膜神経再生過程における低分子量熱ショックタンパク (heat shock protein 25; Hsp25) の一過性発現について. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002年11月9日, 新潟歯学会雑誌 32(2)144頁, 2002.
- 50) 渡邊賢一, 山田一尋, 花田晃治: 若年者における顎関節症の発症に関する疫学的研究. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002年11月9日, 新潟歯学会雑誌 32(2)146頁, 2002.
- 51) 小野和宏, 飯田明彦, 福田純一, 高木律男, 毛利環, 橋本明彦: 歯槽骨外科により咬合再建した下顎前歯部中心性血管腫 (術後) の一例. 日本形成外科学会関東支部第60回新潟地方会, 新潟, 2002年11月11日.

【研究会発表】

- 1) 斉藤 功: 難易性の異なる成人開咬合2症例. 与五沢矯正研究会, 富山, 2002年4月22日.

【受賞】

- 1) 布田花子: 第12回日本顎変形症学会優秀ポスター賞, 大阪, 2002年7月29 - 30日.
- 2) Naoko Ohashi: The 32nd annual International Sun Valley Hard tissue workshop. The young investigator travel award, Idaho USA, 2002, 8.4 - 8.

【その他】

- 1) かづきれいこ: 元気が出るメイク. 第1回国際接着歯学会市民公開講座, 東京, 2002年4月13日.
- 2) かづきれいこ: 顔と心と体について. 第25回日本美容外科学会総会主催市民公開講座, 京都, 2002年10月12日.
- 3) かづきれいこ: リハビリメイク - 病気の皮膚を, いかにかきれいに目立たなくさせるか -. Visual Dermatology, 2(1)10-15頁, 2002.
- 4) 第7回日本顔学会大会 (大会長: 花田晃治) 注管, 新潟, 2002年9月28, 29日.